

令和 7 年 第 3 0 回 定 例 公 安 委 員 会 会 議 録

開 催 日 時 令和 7 年 9 月 2 5 日（木）午前 1 1 時 1 0 分～午後 2 時 2 5 分

開 催 場 所 警察本部

第 1 定例会議

1 開催時間 午後 1 時 3 0 分～午後 1 時 5 8 分

2 出席者

公安委員会 久本委員長 笠田委員 杉原委員

警察本部	青山警察本部長	渡邊警務部長	渡邊首席監察官
	山柝生活安全部長	細田刑事部長	宮田交通部長
	永島警備部長	山本警察学校長	永井情報通信部長
	生田警務部参事官		

（事務局等～柳原公安委員会補佐室長、総務課員）

3 議題事項

4 報告事項

- 各種大会報告（警務部）
- 第 5 5 回全国白バイ安全運転競技大会の開催（交通部）
- とっとり防災フェスタ 2 0 2 5 への参加（警備部）
- 1 0 月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

（ 1 ）各種大会報告（警務部）

警察本部

9 月 2 日に開催された令和 7 年度全国警察柔道・剣道選手権大会には、柔道特別訓練員 2 人と剣道特別訓練員 3 人が出場した。柔道男子個人戦、剣道男子個人

戦及び剣道女子個人戦でそれぞれ選手１人が１回戦を勝利し、２回戦で敗退となった。その他の選手は１回戦で敗退となった。

９月１７日に開催された令和７年度中国四国管区内警察柔道・剣道大会には、柔道特別訓練員９人と剣道特別訓練員９人が出場した。柔道男子団体戦は、予選リーグで０勝２敗で３位となり、予選３位グループの決勝リーグでは０勝２敗で９県中９位という結果であった。剣道男子団体戦は、予選リーグで０勝２敗で３位となり、予選３位グループの決勝リーグでは２勝０敗で９県中７位という結果であった。

次に、大会予定について報告させていただく。滋賀県で開催される第７９回国民スポーツ大会について、鳥取県警察からは剣道競技に２人、ライフル射撃競技に１人、ウェイトリフティング競技に１人の合計４人が出場を予定している。

委員

全国警察柔道・剣道選手権大会については、１勝した選手が３人おられ、価値のある勝利だったと思う。中国四国管区内警察柔道・剣道大会は、柔道が厳しい結果となったが、剣道は予選３位グループで２勝し、健闘された。特別訓練員は、柔道・剣道を通して心技体を鍛え、より上位を目指して頑張ってもらいたい。

滋賀県で開催される国民スポーツ大会について、各競技とも健闘を祈っている。

委員

各種大会の結果を随時報告していただいているが、少しずつ順位が上がってきていると感じる。来年は今年の結果を上回るよう、更に頑張ってもらいたい。

委員

厳しい鍛錬の結果を報告していただき、頼もしく思う。今後も引き続き頑張ってもらいたい。

(２) 第５５回全国白バイ安全運転競技大会の開催（交通部）

警察本部

全国白バイ安全運転競技大会の目的は、白バイ乗務員の運転技能を向上させ、受傷事故の絶無を期すとともに、その士気の高揚を図り、もって道路交通の安全の維持に資することである。本年の大会は、１０月１１日から１２日までの２日間、茨城県ひたちなか市の自動車安全運転センター安全運転中央研修所で行われる。

競技内容は、男性Ａ競技・Ｂ競技、女性競技、団体競技がある。男性Ａ競技は、一本橋、８の字走行、小道路旋回などでタイムや正確性を競うバランス走行操縦競技と、不整地にパイロン等でコースを設定し、オフロードバイクを使用して、コース逸脱やパイロンタッチ等を減点対象として時間や正確性を競う不整地走行

操縦競技の２種目があり、当県からは西部分駐隊の巡査長が出場する。男性Ｂ競技は、オフロードバイクで不整地路面の登り坂や枕木、土管などのセクションを走行し、足つき、転倒などを減点対象として技術を競うトライアル走行操縦競技と、パイロン等で指定された複合曲線コースを走行し、時間や正確性を競う、スラロームと称される傾斜走行操縦競技の２種目があり、西部分駐隊の巡査長が出場する。補欠要員として、西部分駐隊の巡査長を帯同する。昨年まで、これら４種目を１人の選手が行い点数を競っていたが、今年からは大会の合理化と効率化の観点から、Ａ競技とＢ競技に分け、１選手２種目の出場となった。女性競技は、バランス走行操縦競技と傾斜走行操縦競技の２種目であり、東部分駐隊の巡査長が出場する。

団体競技は、４７都道府県に皇宮警察を含めた４８チームを第１部と第２部にグループ分けして実施するものであり、当県は第２部のグループで出場する。

本大会の出場者は、チーム一丸となって持てる力を十分に発揮するとともに、大会の目的を胸に刻み、一つでも順位を上げるとの意気込みで大会に臨むこととしている。

委員

白バイは、俊敏な乗り物である反面、不安定なので受傷事故が起こりやすい乗り物である。大会を通してスキルアップしてもらい、受傷事故の絶無を目指していただきたい。また、この大会に出場した選手を中心に、県警察全体のスキルアップを図ってもらいたい。

委員

６月に白バイ安全運転競技大会の県大会を視察させていただいたが、県内の大会でもレベルの高さに驚いた。結果を期待している。

委員

高い操縦技術を日常的に研さんされていることに敬意を表したい。大会を通して、警察業務に役立つ技術の習得につながっていくと思うので、今後にも期待ができる。是非頑張ってきてもらいたい。

（３）とっとり防災フェスタ２０２５への参加（警備部）

警察本部

とっとり防災フェスタ２０２５は、鳥取県西部地震から２５年の節目の年において、大規模地震による災害発生を想定し、関係機関が応急対策活動を迅速、的確に遂行する訓練を実施し、関係機関相互の協力体制の確立を図ることを目的として、９月２０日に米子市大崎地内のウインズ米子で開催された。

訓練及び展示には、鳥取県、西部地区の自治体、消防、自衛隊など７５機関約

400人が参加し、警察からは警備第二課、機動隊、米子警察署の合計19人が参加した。訓練は、県警察、消防、自衛隊などの機関が現地合同調整所の設置・運営訓練を行った上で、救助訓練のメインの1つである、倒壊家屋救出救助訓練を行った。倒壊家屋救出救助訓練の流れは、まず、ドローンスクール職員による、ドローンを使用しての情報収集を行い、次に、航空自衛隊の人員捜索犬による要救助者の捜索を実施し、そして、鳥取県警察による要救助者の救出後、ドクターヘリにより、鳥取大学附属病院への空路搬送を行った。警察の救出救助訓練については、人員捜索犬により確認された家屋内の要救助者を救出すべく、家屋の木製屋根にチェーンソーにより小さい穴を開け、そこにカメラを挿入し、内部状況を確認した後に、チェーンソーで救助用の大きな穴を開け、そこから2人が侵入し、屋内の要救助者を確認した後に外にいる部隊員が穴から担架を入れ、中にいる2人が要救助者を担架に乗せ、救出するものであった。今回は、厳しい環境下での訓練ではなかったが、実際の災害現場では雨が降れば木材が吸水し、切断に時間がかかったり、土砂が付着した木材の切断には、土砂対応のチェーンソーを使用する必要があるあったり、倒壊による不安定な家屋には固定用具を使用しての安全措置が必要な場合がある。今後も、県警察において個別や総合的な訓練を継続し、救助技能の向上を推進する。

訓練エリアに接続した展示エリアもあり、警察の広報ブースを設け、米子警察署と協力し、レスキュー車の展示、子ども用災害活動服・制服試着などの広報を実施し、約600人の訪問があった。未就学児や小学校低学年を連れた親子が多く、警察官が子どもたちに声を掛けたところ、家族が笑顔で応えるといった反応があった。

委員

毎年のように大きな災害が起きており、こうした訓練の必要性が高まっている。県警察は中心的な役割であり、各種訓練を通して組織間の連携の確認をするなど、知識、技術等を蓄積し、いざという時に生かしてもらいたい。

委員

今年は倒壊家屋からの救出救助訓練を実施されたとのことであった。毎年違った想定での訓練をされているので、経験を積み重ねてもらい、有り難い。

企画展示コーナーを設けておられ、将来を担う子どもたちに声を掛けていただいた。警察官に憧れるきっかけになるかもしれないので、引き続き広報についても頑張ってもらいたい。

委員

関係機関が連携を図って訓練を実施しておられ、心強い。県民の防災意識の向上に寄与するフェスタだと感じており、地域の安全、安心作りに確実につながる行事だと思うので、今後も継続してもらいたい。

(4) 10月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

警察本部

10月中の入校関係について、採用時教養は初任科102期生が引き続き入校している。専科については、鑑識専科、受傷事故防止指導者専科、サイバー捜査専科、緊急自動車専科の4専科33人が入校予定である。任用科は、警部補任用科4人、巡查部長任用科1人が入校予定である。

10月中の行事・訓練等の予定であるが、10月16日に警察本部で実施される似顔絵講習会及び似顔絵コンクールに出場することとしている。また、10月27日から10月31日までの5日間、鳥取警察署、倉吉警察署、米子警察署の3署に分かれ、各署の交番勤務員指導のもと、制服実務研修を行う。

9月中の行事・訓練等の状況については、逮捕術初級検定、情報処理能力検定、術科技能検定を受検した。また、公安委員長による訓育、部外講師による障がい者講習、薬物乱用防止講習を受講した。9月29日には、初任科第101期生の卒業式を挙行する予定であり、卒業後は、約3か月間の職場実習を行う。

委員

制服実務研修を実施予定とのことであり、研修であっても、県民から見たら普通の警察官である。緊張しながら任務に当たられると思うが、頑張ってもらいたい。薬物乱用防止講習を受講されているが、若い人の薬物所持や乱用が増えており、非常に重要な講習だと思った。

いよいよ初任科第101期が卒業する。厳しい訓練を終え、現場に出るが、県警察全体で引き続き育成してもらいたい。初任科第102期については、今後も愛情を持って厳しく育ててもらいたい。

委員

初任科第101期が卒業する。現場で活躍される姿を見るのが楽しみである。障がい者講習を受講されているが、こうした講習を通じて、困っておられる方に最初に駆け寄ってあげられる、すばらしい人材が育つことを期待している。

委員

様々な訓練や行事を通して経験したことを生かし、責任感のある警察官として、自覚を持って現場で活躍してもらいたい。引き続き、育成に関して尽力をお願いする。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取２件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞１件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

4 報告事項

- ・鳥取県警察公式Instagramの運用開始について
- ・監察報告

5 決裁

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。